

地域連携・医療福祉相談室だより



医師紹介

耳鼻咽喉科 堀江 理恵

2020年4月より、京都通信病院耳鼻咽喉科に赴任いたしました堀江理恵と申します。2000年に近畿大学を卒業し、京都大学耳鼻咽喉科に入局いたしました。耳鼻咽喉科全般の診療をしていますが、中でも耳疾患や小児難聴医療を専門にしています。

大阪赤十字病院勤務の際には、岩永迪孝先生の元、年間250例以上の耳科手術経験を積ませて頂きました。また二人の小児科部長のご高配により、約1年間、小児科を兼務させて頂き、NICUや新生児医療、様々な小児医療について学ばせて頂きました。

京都大学大学院では、当院で診療されておられる伊藤壽一名誉教授のご指導の元、難治性感音難聴の基礎研究や内耳 Drug delivery system を利用した製品開発など、トランスレーショナルリサーチ研究に取り組みました。また、Tübingen Univ. Hearing Research Centre, Mariles Knipper 教授の研究室留学においては、難聴に関わる内耳有毛細胞の分子生理学を学ぶ貴重な経験となりました。

その後、京都大学遺伝子診療部の小杉眞司先生には、ゲノム医療推進プロジェクトであるNGSDコースの2期生として入学し、京都大学では遺伝カウンセリングの実習や実践、座学を学び、遺伝医療を牽引されている信州大学、鳥取大学にも短期留学をさせて頂き、遺伝診療の情報管理から実践に至るまで幅広く学ばせて頂きました。

前任地の滋賀県立小児保健医療センターでは、京都大学大学院時代から携わっている乳幼児難聴専門外来診療や、100症例を超える遺伝性難聴家系、難聴遺伝子検査の臨床研究に取り組んで参りました。

先天性・乳幼児難聴、小児医療では、確定診断に向けた遺伝子診断、早期補聴器装用や人工内耳治療などの診療を実践しますが、早期より言葉の発達を促し、子どもたちが社会に出て、自分らしい生活が送れるようサポートしていくことを目指します。私自身2児の母として、お子さまを心配されるご家族の気持ちに寄り添った医療を心がけていきたいと思っています。どうぞ宜しくお願い申し上げます。



資格など	
京都大学博士(医学)	補聴器適合判定医
日本耳鼻咽喉科学会専門医	補聴器相談医
日本気管食道科学会認定専門医	京都大学客員研究員
日本耳鼻咽喉科学会認定騒音性難聴担当医	京都大学 IRUD 実行委員

～耳鼻咽喉科担当医表～

	月	火	水	木	金
午前	小島	★小島 (難聴・耳鳴り)	★藤本 (腫瘍)	小島	藤本
	藤本	神田	神田	堀江	堀江
午後	★藤本 (中耳炎・真珠腫)	★小島 (難聴・耳鳴り)	一般	★小島 (鼻・副鼻腔)	★小島 (難聴・小児)
	神田	堀江	/	★伊藤 (人工内耳・きこえ)	一般
	▲小島 (SAS外来)				

受付 午前 8:30～12:30
午後 1:30～3:30

診療 午前 9:00～
午後 2:00～

★: 予約外来
▲: 内科外来での診療

